

4 セミファイナルに挑む

セミファイナルは8月8日から2日間行われました。セミファイナルには6名が出場し、「ブラインド審査」という経験したことのない方法で演奏に臨みました。とても緊張しましたが、今まで練習してきたこと、皆様からの応援を音に込めて演奏しよう！という気持ちを持って、楽しんで演奏することができたように思います。1日目は無伴奏の曲を、2日目は伴奏つきの曲をそれぞれ演奏し、2日目の昼食会の場で、ファイナリスト3名が発表されました。昼食会というリラックスした温かい雰囲気の中で、自分の名前が言われた瞬間は英語だったので、合格したかどうか分かりませんでした。周囲から歓声が上がって、ファイナリストに選ばれたとわかり、お互いをハグしあってたまたま合う光景が大変印象的でした。ファイナリストに選ばれて、応援してきてくれた人たちに感謝の気持ちをお返しできる、また皆様に自分の演奏を聴いていただけるという安心感に包まれました。

5 第1位の瞬間

ファイナルでは、共に進んだ2名と同じ伴奏つきの曲を1曲演奏しました。同じ曲でも演奏者によって伴奏の雰囲気違って、私が演奏した時は、思っていたよりも伴奏のテンポが速く戸惑いましたが、歌うことを大切にして、何とか伴奏に合わせて演奏を終えられました。

ファイナルの演奏はインターネットでライブ配信も行われ、日本時間の深夜2時にもかかわらず、多くの皆様に配信を見てくださり、

7 美幌が育んだ「思い」

今の私があるのは、美幌町の皆様に育てていただいたおかげです。特に小学校の金管バンド、中学校の吹奏楽部で仲間と一緒に練習したことがすごく大きかったです。

私はこれまでの練習で、音質や音程を大切にし、演奏する曲の解釈を深めていくことを追求しました。演奏をする時に感じる違和感を解消し、自然に聞こえた時に初めて、曲の風景や作曲者の思いが観客に伝わる。高い技術はもちろん大事ですが、演奏を聴いてどれだけ風景や作曲者の思いが伝わる

たくさんの方の応援をいただき、励まされながら、美幌町の代表として本番に臨みました。

第1位の瞬間は、「1位を取っちゃった」というのが正直な実感で、驚きと喜びが交差したような感覚でした。3月から準備を始め、美幌町の皆様からの応援を受け、1位を受賞して終えられたことに、ホッとしたのと同時に、少しずつその実感も湧いてきました。

観客や他の出場者からもたくさん祝福されました。特にレナード・ファルコーニさんの娘さんから「来年は是非アーティスト部門で出場を」と声をかけられたのが印象的でした。日本からも「おめでとう」「見てたよ！」「言っただお祝いの言葉や、「興奮して眠れなくなっただ」などのメッセージをいただき、高校の吹奏楽局には朝4時に速報が流れたと聞いて大変驚きました。

6 大会を終えて思うこと

日本では得られない刺激をたくさん受けたのがやはり大きいです。特に出演者の合同演奏で感じたの

かということに大事にしてみました。それが今の音楽づくりにつながっているのかなと思います。あとは先生と、毎晩、父に自分の演奏を聴いてもらっていたのも大きいです。こうした環境で頑張れる土壌が美幌町にあって、小学生の時からとても難しい曲に挑戦したので鍛えられましたし、関わった先生方も子どもたちの可能性を信じて、引き出してくれました。全てが順調だったわけではなく、泣いて、笑って、ここまで成長できた、振り返って感じています。

8 これからの挑戦

今後は自分が学んできたことを次の世代や多くの方々に伝えたい。そのための教養を身に付けたいと考えています。基本に立ち返り、1つの音を聞いて多くの方に感動してもらえよう、これまでと同様に音量の大きさよりも「豊かな音で音楽を奏でる」というところを大切に伝えていきたいです。楽器を演奏したことはないけど、楽器に触れたいという人たちのた



ですが、演奏のレベルや年齢、国籍、賞が違って、「音楽って融合していくんだな」というのを感じ、鳥肌が立ちました。音楽がつながる輪というか、音楽が人をつなぐ力を持っていると改めて思いました。日本でも聞いてくださった方が涙を流しながら聴いてくださったというお話も聞いていますし、何より海外の方から、自分の演奏が良かったと言ってもらえる機会って貴重だと思うので、ユーフォニアムを続けてきて良かったなと思いました。これからは、部活動の地

めに音楽を聴いてもらい、美幌町の音楽文化がさらに発展し、途絶えないようにと願っています。将来の進路は考えている最中ですが、音楽も続けながら、人とのつながりを生むような仕事にも興味があるので、自分の可能性を信じて、進む道を決めていきたいと思っています。

これからも、私を含め文化やスポーツ活動に関わる多くの皆様への変わらぬエールを、よろしくお願いします。



懸垂幕を掲揚しています

町では石井さんの栄誉をたたえて、役場庁舎（11月末まで）と町民会館（来年3月末まで）に懸垂幕を掲揚しています。お立ち寄りの際に、ぜひご覧ください。

町 HP ではカラー版を公開しています。

HP 22550

